



30周年

ウルヤマ

トルコ-日本文化協会
会誌

www.uluyama.org



友を増やすのが大事です

トルコと日本の友情の 架け橋

ベテラン兵士、ムスタファ ケマルと
戦友達のおかげで、
彼等の揺るぎない信念の
おかげでこの歴史が
書かれたのです。

価値あるトルコ-日本間の友情に心を籠めて、多くの年代に多種多様な文明の発展の舞台となったアナドル（アナトリア）そしてこの土地の貴重な人々へ、私は愛と敬意をもってご挨拶申し上げます。

私のあなた方への執筆の冒頭に友情の蓄積と友人を増やしてゆくことがいかに重要であったかをお話ししたいのです。

今日、我々が有するテクノロジーや可能性が何もないと想像してみてください。

Whatsappも、facebookも、スマートフォンも、テレビもラジオもなし。

トルコの独立戦争は私にとっては完全な神話です。

このような不可能な環境の中でこれらの人々はどのようにして集まることが出来たのでしょうか。

サカリヤ、チャナッカレの伝説は歴史として書かれましたが、私は何年もこれについて考えてきました。そして私が到達したポイントを皆さんと共有したいと思います。

この伝説を書いたのはGazi Mustafa Kemalと彼の軍隊の仲間の揺るぎない信念のおかげで、この歴史は書かれました。では、どのようにこれらの人々はそのような不可能な環境の中で成功したのでしょうか。

私が到達したポイントは以下の様です。

Gazi Mustafa Kemalは友人達を集めました。彼等はMustafa Kemalを信じていると同時に死ぬ覚悟で彼の周りにいてくれたのです。この友人達のおかげで、彼らはこの奇跡を起こせたのです。

私は年に一度、あなた方のために発行しようとしているサクラマガジン、この翻訳をしていただいたイスタンブールで通訳

の仕事もされている貴子夫人と一緒に交わした会話の一部をあなた方にご紹介したいと思います。

“私は翻訳ビジネスに非常に興味があります。

仕事が忙しい中あなたの雑誌の翻訳を行っていました。私がこれをやっていたとき、私の母が仕事部屋に来ました。もちろん彼女は私と一緒に観光することを待ちきれないほど楽しみにしていました。しかし、私は母に私の仕事は重要で緊急を要するので延期することが出来ないことを説明しました。それで母は不満げにブツブツ言いながら部屋を出て行きました。少し後、彼女は私がどんな仕事をしているのか興味があったのでしょうか、また戻ってきて画面を見てました。それから母は私に、あなたは大事な仕事をしているね、平和のために、人々のために大事な仕事をしているね。仕事を続けて。と言って部屋を出ていきました。1時間ほどしてから母にコーヒーを持って行き一緒に話し始めました。彼女は、第二次世界大戦の真只中の最悪の状況に時私はまだ子供だったの。ある夜、外でお母さんと歩いているとき照明弾あたりが昼間のようにになりました。母は私に被害がないように掛け物をかぶせ自分でも私の上にかぶさりました。でも私は子供で何が起きているのか興味がありました、頭を外に出した時、すぐ上を戦闘機が飛びすぎて行ったの。超低空を飛んで行ったので操縦士の目まで見えたの。これがどんな意味を持つのかあなたには理解できないでしょ？貴方は戦争がどんなことか分からないでしょ？あなたは平和のための仕事をしてる。貴方をほめてあげる。だから仕事を続けて。そうです、親愛なる皆さん、これが貴子さんとお母さんの間の会話の一部でした。親愛なる皆さん、あなた方にもう少し友情、兄弟姉妹関係のきつな、そしてよいことを行うことがどんなに大切かについて述べたいと思います。

数か月前に一人の日本人の女性がブルサに来られまhした。この女性の名はアリサさん。この方をブルサに行かせたのは北海道の日本トルコ友好協会の会長の山田英二氏です。彼女がトルコへ行くことになった時、彼女にブルサへ行くこと、ブルサのウルヤマの会長ハーカンさんとコンタクトすることを提案します。ほかのどこにも行かず直接行って下さい、住所はこれです、と言います。このような信頼は30年の月日が培ったものと言わねばなりません。

私にも娘がいます。16歳で大学入試への準備と日本語検定試験への準備中です。彼女は2年前、私に日本の学校へ行きたいと言いました。もちろん日本と日本の文化を愛する一人として嬉しく思ったことを言わねばなりません。

しかし一人っ子の為、日本で足にとげが刺さったら、困ったことがあったら、私がそばにいないことが不安になったことも事実です。

あとで日本の友人や知り合いのことが頭に浮かびました、長年にわたり築かれた友情が。娘が日本に行ったら彼女に腕になり翼になる親しい人たちが彼女の周りに友人になってくれるでしょう。この協会は30年と言う長い間にお金では買えない大切な友情の架け橋をトルコと日本の間に築き上げました。

この橋の名前はトルコと日本間の友情の橋です。この橋の構築は30年の意図何の暗い興味も示さず、献身的に、親しみを込めたいつも身近にいてくれた大切なトルコと日本の友人たちとウルヤマの一人一人の会員はここで、感情をこめてご挨拶申し上げ、記念の本の発行にスポンサーになっていたいたアレナ学校に感謝をいたします。

ハ-カンカプラン
2022年12月



ウルヤマ トルコ 日本文化協会

www.uluyama.org

www.aikidobursa.org



@uluyama



国と国旗への 愛着

献身 が必要……

Sertifikalarını aldılar

Ulyama Japon Kültür Derneği ve TÖMER (Ankara Üniversitesi Türkçe Öğretim Merkezi) Bursa Şubesinin işbirliğiyle organize edilen Japon Haftası sona erdi. Japonya'nın Ankara Büyükelçisi Yoichi Yamaguchi'nin de katılıp, Japonya'nın ekonomik, politik yapısını anlattığı ve Ulyama Japon Kültür Derneği ile TÖMER arasındaki işbirliği protokolünü imzaladığı kapanış töreninde, derneğin Japonca dil kurslarını başarıyla tamamlayan kursiyerlere de sertifikaları verildi. Geçtiğimiz haftasonu TÖMER'de gerçekleştirilen törende 10 kişiye sertifika verildi.

(Fahri GÜRHAN)

証明書を受け取りました
1993年オライ新聞



JAPONCA'YLA TANISILAR: 13 kişinin katıldığı kursta, ilk kez Japonca'yla tanışan kursiyerler derslerin çok ilginç geçtiğini söyleyerek, bir Uzakdoğu dilini öğrenmekten duydukları memnuniyeti dile getirerek, herkesin bu kursa katılmasını istediler.

Japonca ilgi görüyor

Ulyama Türk Japon Kültür Derneği'nin başlattığı Japonca kurslarına, Uzakdoğu kültürüne meraklı öğrenciler katılıyor

日本語が関心を呼びます
1996年日本語コース

Liseliler dostluk için yarışacak



BİLGİ VERDİ Bursa Ulyama Türk-Japon Kültür Derneği, iki ülke arasındaki dostluk ve dayanışmayı geliştirmek amacıyla resim ve kompozisyon yarışması düzenledi. Dernek Başkanı Selma Nalbant, 16 Mayıs'ta Eğitim Araçları Salonu'nda video ve slayt gösterileri yaparak yarışma hakkında önemli bilgiler

Bursa Ulyama Türk-Japon Kültür Derneği, 1986 Yılı Bahar Akademi olarak, 19 Mayıs Gençlik Haftası kapsamında Bursa merkez ilçe ve dengi okullar arasında resim ve kompozisyon yarışması düzenleyecek.

"Japonya ve Japon Kültürü" konulu resim yarışması ile, Türkiye ile Japonya arasında su dostluk ilişkilerinin kültürel ve ekonomik anlamda geliştirilmesini için gençlerin dışlanmasını, iki ülke arasında daha fazla yakınlaşma için yapılması gerekenleri ve Japonya'ya ve Japonları ile kadim tanışmalarını, "Türk-Japon Dostluk ve Dayanışması" konulu kompozisyon yarışmasına tüm ilçe öğrencileri katılacaklar.

Yarışmanın jüri komisyonu Bursa merkez ilçe ve dengi okullarda resim ve edebiyat öğretmenlerine, Türkiye Kültür Merkezi'nde her birine verilen

dostluğunu önümüzdeki yılın tasarımlarını sağlamak olduğunu söyledi. Öğrencilerin yarışma öncesinde Japonya hakkında daha fazla bilgi edinmelerini için 18 Mayıs'ta tarihine Eğitim Araçları Salonu'nda video ve slayt gösterileri ile Japonya'ya tanıtıcı bilgi verileceğini açıklayan Nalbant, bunun yanı sıra Japon sporu olan judo ve tekvando gösterisi yapılacağını söyledi.

Birfinde öğretmenlere dernek hakkında önemli bilgiler veren Nalbant, 1982 yılında kurulan derneğin 50 üyesi bulunduğunu söyledi. Derneğin çift yönlü bir misyonu bulunduğunu vurgulayan Nalbant, "Biz burada Japonya'ya tanıtırken, orada bulunan ve başkını Japonya olan Japon-Türk Kültür Derneği de Türkiye'yi ve Türkleri tanıtır" dedi.

Türkiye'nin Japonya ile her alanındaki ilişkilerinin geliştirilmesini

olumsuzlarını hesledik. Yakında İstanbul sub-miz açılacak. Japonya, Türkiye'nin yatırımları için önemli bir kaynak olabilir. İstediğimiz bu konuya dikkatini çekmek istiyoruz. Bu ülke son yıllarda saldırlı halatının yüzde 32'sini Türkiye'ye, özellikle de Hat firmasından yapıyor. Biz bu tür konularda aracılık da yapıyoruz" dedi.

Türkiye ile Japonya'nın ilişkilerinin tarih boyunca hep nötr olduğunu, ama bu durumun artık yavaş yavaş değiştiğini belirten Nalbant şöyle dedi:

"Türkiye'de siyasal adamları kafalarını sadece Avrupa'ya odaklıyorlar. Her ülkenin hakim olduğu bir asır vardır. Bu asrın süper gücü ise Amerika. Bugün İngiliz ekonomisinin giderek kötüleştiğini görüyoruz. Fransa bir sosyal çıkartım

olarak tabiri ediliyor. Bu nedenle Türkiye'nin de yatırımlarını bu bölgeye yönlendirmesini çok daha akıllıca bir seçim olduğunu düşünüyoruz. Almanya, Avrupa'nın yalnız ülkesi. Japonya da Asya'nın yalnız ülkesi. Türkiye'nin de konularıyla ille aras çok iyi değil. Japonya ile çok daha iyi ilişkiler kurulabilir. Bu konuda kültürü bir köprü olarak düşünüyoruz."

Tüm eserlerin 10 Haziran tarihine kadar teslim edilmesi gereken yarışmada, resim yarışması için yapıtların bitmiş boyutunun 30x30 santimetre olması, kompozisyon yarışması için ise eserlerin kompozisyon yazım kurallarına göre ve bir dozen içinde sunulması gerektiği şeklinde yarışma gerekçeleri verildi.

Her iki kategoride birinci, ikinci ve üçüncü sıraların kazananları, Japonya'ya yapılacak ziyarette ödüllendirilecekler. Yarışma sonuçları, 16 Mayıs'ta Eğitim Araçları Salonu'nda yapılacak yarışma hakkında önemli bilgiler

高校生たちが友情のために競い合います



1999年メルシン-トルコ日本友好協会訪問



1993

1993年、7月17日、展覧会”Japan Today”:

文化公園のフェアグラウンド、アーティストシェフィックブルサル アートギャラリーで開催された展覧会では、60枚の写真、日本紹介カセット、和服、箏の楽器が紹介され、これらは大きな関心を持って参観されました。

1993年(平成5年)4月10日、日本語コース:16人の参加によるコースでは、10人の研修生が合格し国家教育省承認の合格証明書を授与されました。

1993年11月15日-21日の日本週間:トメル(トルコの外国語教育センター)のブルサ支部と共同開催されたイベントでは、日本の自然をテーマにした写真展、日本紹介の本、日本のプロモーションテープ、和服、日本の印象と織物の模様とカタログについての語り合いが行われました。農学部長が講師となって主催する会議では、学生たちの日本に留学する機会-奨学金についての情報が提供されました。日本の駐トルコ山口洋一大使より”日本の経済的成功の鍵”をテーマに話された閉会のスピーチは招待されたゲストにより興味深く視聴されました。

1993年12月24日 会議:”日本の教育システム”、Diaショー、”トルコと日本の経済協力の規模”:商品取引所の会議場で開催されました。平成7年(1995年)3月:日本国総領事館・ジェットロとの会議を行うためのブルサへのディレクターの招待についてブルサメトロポリタン自治体とブルサ知事との会議に関する公式の対応が開始されました。1995年(平成7年)4月:当協会の本格的な活動が開始され、発展プロセスに入った時期と認識される期間ですが、この時日本総領事の有賀氏が会議を行う目的で初めてブルサを訪問することになり我々は大変名誉に思いました。ブルサ チェリッキパラスホテルの会議場で開催されたスピーチには300人ほどの人々が会場を埋めました。日本のトルコ観が語られた会議の後でTOYOTASA(トルコのトヨタ工場)のトヨタ品質管理部からユクセル・チリングル氏がTOYOTASAの品質管理業務と目標について話をされました。総領事に敬意を表してブルサ乗馬スポーツクラブで開催された馬の競技大会はスポーツの領域に達し、好成績を収めた人々にウルヤマ側からトロフィーの授与がなされました。

総領事の訪問中に、ブルサの知事室、メトロポリタン自治体のGESIAD(青年実業家、経営者協会)-BUSIAD(ブルサ産業家、実業家、協会)の訪問は世論に重要かつ肯定的な影響を与えました。そして、この理由のために1995年4月24日は、年表で私たちの協会の記念すべき特別の日です。4月23日 国民権とこどもの日の祝日

総領事のブルサ訪問に敬意を表し私立Inal Erekin小学校の生徒たちが演じた民族舞踊フォークローアは私たちの活動に色を加えました。

1995年6月

私たち夏の活動プログラムと新しい協会センターの形成のための活動が開始されました。

1995年7月24日の会議,” トルコのアタテュルク時代の日本との関係と高松宮のアタテュルク訪問”:

アンカラでの日本文化研究と連携協会の会長スドカ・テメル氏がブルサで話をするために招待されました。ブルサTKM (タイヤーレ文化センター) で会議は120人が参加し視聴されました。

1995年7月24-31日,展示会,”アタテュルクとトルコの歴史と”日本について”:催展示が国家的な信頼に影響される内容から公衆によって興味深く受け取られました。1995年(平成7年)8月:日本海上自衛隊の艦船がイスタンブールを訪問した際に、日本の総領事館の招待で、協会の会長と副会長が出席し、会った人々と協会の将来のプロジェクトに関する計画を紹介しました- ”ジュニア-チェンバー-インターナシヨナ(JAYCEES)”の樋口真嗣社長が1995年、ブルサを訪問しました際に日本についてのプレゼンテーション中、私たちの協会が紹介されました。Izmit郡のデイルメンデレ町での ”彫刻家シンポジウム” が開催され、トルコにいる4人の日本人彫刻家と他の国からのアーティストと一緒に私たちの協会と観光のブルサ地方総局の協力を得てブルサに招待され、私たちの街の歴史や観光スポットに案内されました。日本総領事館代表の乙山昭次官はゲストとして私たちを訪問されました。日本企業を代表して来られた日本人ゲストの方々も週の間に私たちの活動を見ました。Jetroの松尾良一所長による”日本への輸出機会”に関する会議が開催されました。トルコ首相府IGEME(輸出発展センター) から ヴラル・ チェキンメズとオズカン-エルゲン氏の分野別分析をテーマにしたプレゼンテーションが行われました。

約200人のリスナーの参加を得ての会議プログラムの聴衆は大多数がビジネスマンで構成されていました。1週間の間に”伝統的なトルコ-日本の手工芸品” 展示会が開催されました。私どもがお招きし、京都からブルサに来られた山口沙織さんと安藤明子さんは、日本美術の例として茶の湯、生け花、着物ショーと日本の書道アートをブルサの人々に紹介しました。トルコのブルサ出身の芸術家の一人であるメリハ・ツナはトルコの陶磁器の芸術、ヒュスニユ・ジュベルは木のスプーンと燃えるアート、エサット・ウルマイは伝統的なトルコの男性用の民俗ジュエリーを展示して展覧会に参加しました。イギリスの劇作家W.Shakespeareの有名な演劇”オセロ”16 センチュリー-ジャパン【イギリス統治時代のシナイ半島への移住】-キースケイによって行われた男性マルコム,TKMで約1000人によって三日間それは視聴されています。

ブルサで初めて試みられた”トルコ-日本工業製品フェア”へは一部の日本の製品販売企業とトルコの日本に輸出している企業/準備中の地元企業が参加しました。自動車産業が大部分を占めたフェアの目的は、特に事業家の日本市場から将来的に注目を集めること、と同様の種類の見本市を開催するための例を挙げることもあります。



1996

日本の外務省の1月の招待において「若いトルコの指導者」プログラムのテーマにより、協会の会長セルナルバントとトルコ全土から10人が日本に行きます。私たちの国での協会の貴重な活動を紹介するために機会を得ました。

特に日本の大学生や他の協会への関心が寄せられ、私たち将来のプログラムへの参加について話し協力関係の構築へのプロセッサが話し合われました。

この訪問の後、姉妹協会、学生交流プログラム、日本庭園の開発が進行中です。

会員の要望に応じて新協会センターにて

日本語第6回語学講座(10名参加)が実施され、それは組織化され始めています。

日本東郷武弘大使の、公式および非公式ブルサ訪問でブルサへの公式訪問の際にその議題を満たしています。3月8日の夜にTKMで「トルコと日本の関係」のトピックで講演が行われ、経済的、歴史的、外交的、文化的な関係が語られ、私たちの関係は評価されており、500人の聴衆に向けて演説されました。

トルコ共和国の文化省ブルサ県の古典的なトルコ音楽合唱団が「大使敬意を表し」Dede Efendiが公演されました

有名な作曲家とトルコの文化を日本のゲストに紹介する稀有な機会であったに相違ありません。

3月中に宇都宮の中東諸国文化協会理事鈴木秀世氏が我々のゲストで来られ、私たちの団体との中で私たちがとの同胞関係のプロトコルを準備することが決定されました。

5月19日の青少年週間の一環として、「絵画と作文コンテスト」が開催され、高校と同等の学校を対象に、「ブルサ県立美術ギャラリー、ウルダー大学教養学部と教育学部の貢献で行われました。

トルコでの最初の公式合気道の訓練実施は我々のUluyama協会です

トルコ-日本文化協会と柔道は県代表のジェミル・ジャンダンのリーダーシップでアタチュルクスポーツ宮殿で始まりました。

京都大学小松花子先生のウルヤマ会員のための日本語講座が開催されました。

ホンダ・アナドル・オトモティブ株式会社-伊藤忠コーポレーションのイスタンブールセンターを訪問することによって第2回トルコ-日本週間に参加される約束を得ました。

このようにして私たちの県の歴史的な及び観光的な各所が彼らに案内されました。1995年10月、これは10月7日から15日までブルサのトルコ-日本週間を実施した組織についてです。この時は私たちの協会が設立されてから最も重要な広範囲な活動でした。この週は種々のグル

ープを目標に注意を喚起するために活動しました、それは会議や展示会、演技、コンサート、教育に関する小規模なミーティング、公式訪問やスポーツイベントが含まれました。この週のためカウンセラーの本谷明さんは、日本総領事の代理であったので名誉ゲストとして参加してくださいました。他の日本のゲストは在トルコ日本企業の代表者などが参加くださいました。10月7日から始まり、JETROの松尾良一ディレクターが公演をして下さり、テーマは日本への輸出の可能性でした。セクターごとの分析はTR, Primershipのヴラル・チェキンズ氏とIGEMEのオズジャン・エルギン氏。聴衆約200名の大多数はビジネスマンでした。同日トルコと日本の伝統的な手工芸展示会が開催され、私たちが招待した京都市から来られた山口沙織と安藤明子が参加して日本の芸術や手工芸品の展示をしました。日本のアートの例である茶の湯、生け花、と着物のショーを見せました。彼等はまたブルサ市民に日本の書道を見せました。メリハ・トゥナはトルコのセラミックアートの代表として展示会に参加しました。ヒュシュニユ・ズベールは木のスプーンのブランディングアートを発表しました。エサット・ウルマイはトルコの男性用の装飾品を元に展示会に参加しました。

トルコ-日本工業製品フェアには最初のフェアでブルサでは最初の事業で様々な日本製品の販売代理店が参加しました-それらはすでに日本へ輸出も行っている会社或いは準備中の企業もありました。

このフェアの目的は主に自動車会社を中心になっていたこのビジネスマンが日本市場への注意を惹くことで、類似した目的のためいい例となるでしょう。

日本の会社にもこのようなフェアは貢献度を提供したと思われますので将来的にも組織出来れば非常に有益になるでしょう。この週は小規模な会議が続きます、それにはプロフェッサードクトルエロル・イイ・ボズクルトの「発展のための日本システムとトルコ」、ハムディ・オズチェリケルの「日本のマネジメントシステム」、JICAディレクター佐々木直義氏の「JICAの活動と目標」、

イェネル・ソヌイェンの「日本のビジネスマンとのディスカッション過程」。

これらは日本についてそれぞれビデオショーでサポートされ、100人によって鑑賞されました。大学生や会社員達もこれらの会議に参加しました。

トルコ-日本週間はブルサの文化省の国立古典音楽のコーラスで終幕しました。

1995年にはプログラムの意義は異なりました、理由はブルサにとって最も重要なイベントになったからです。



2001年トルコー日本週間
BURFAŞ文化公園



2002年児童保護局で
柔道を伝授

日本へ 行きました! 2001/2002

2001年 串本町を訪問しました



2001年 串本町長にお土産





2001年 串本町長にお土産



2002年東京でトルコの笛, ネイを教えました

串本町の近くで沈んだ、そして私たちの船員の586人が殉職した、彼等の記念碑また、同じ町串本町に設立された友情協会のメンバーを私たちは訪問しました。丘の頂に位置する記念碑には私たちの栄光の旗が羽ばたいていました。

訪れてくるすべてのトルコのゲスト一人一人の名前が書かれているパンカードに私たちの名前は忘れられていませんでした。夜私たちの名誉の為の夕食はトルコ料理でした。同じ夕方日本の地元の人たちによるトルコの民族舞踊(silifke地域)を見たことは私たちを喜ばせてくれました



2001年串本町友好協会の会員達と



2001年日本国外務大臣(中東責任者)と





1999年 マルマラ地震の後ブルサに滞在していた日本の救助隊に支援が提供されました。日本語コースが開始されました。”第4回「ブルサトルコ-日本週間」が開催されました。メルシンから参加したゲストと一緒に祝われた週の活動の中で、メルシン トルコ-日本友好協会「兄弟関係プロトコル」が署名されました。日本国大使竹中茂雄と文化大使今泉重吾はブルサのゲストでした。メルシントルコ-日本文化協会よりメルシンで開催された”トルコ-日本年”活動で日本の伝統的な武道である、合気道と剣道の芸術は幅広い聴衆に紹介されました。

2001年 日本政府外務省より日本招待を受ける。

ハカン-カプランは協会を代表して日本に招待されました。彼は長年にわたりトルコとトルコ文化に興味を持っている日本人により設立された協会や様々な組織との交流を行い、また一堂に会する機会を経験しました。10日間の旅行で彼は東京、大阪、京都、奈良と串本へ行ってきました。

2002年 私たちの協会会長ハカン-カプラン、日本へ観光やスポーツの目的のために旅行されています。

夫々が貴重な日本文化の事例をお互いに知る機会を見つけたのカプラン、同時に講道館で柔道、柳生新影流派の本武道場の梶塚先生と合気道の本部道場で稽古の機会をつかみました。

“児童保護施設での柔道訓練”プロジェクトは社会福祉施設とウルヤマ協会が共同で行われたもの。慈悲の制度構造の中で私達の子供へ先生 Hakan Kaplanが警察庁長官イスマイルさん(柔道2段)と一緒に1年間のレッスンが行われました。

2002年4月、ユフダーデ文化センターで”今日の日本と教育システム”と呼ばれるセミナーに石原武氏がブルサに来られました。

2003年 ”日本の教育システム”についての教育パネル会議に日本総領事館文化大使の石原氏が講師として参加されました。

今日の日本の教育システムを理解する-会議は、多くの学校の校長、学生が出席しました、先生も参加してくれました。”茶の湯、いけばな、折り紙”紹介

日本総領事館からの女性、和田さんと文化大使の石原さんの参加でブルサ教育ツールセンターで行われました。日本で最も有名な生け花と茶の湯の学校を卒業した和田さんの出演で作られた

ショーは、ブルサの地元のテレビの一つであるASTVで生放送されました。タイチチュアンの名人ハーカンオヌムさんが私たちの会員にセミナ

一をしてくれました。そののち、ジュマルクズックに行き、自然の中でタイチを行いました。

2007

東海市のお誘いでニルフェル市協会を代表して5人、協会を代表して3人との関係で、日本訪問が行われました。大きな関心を持って遭遇したイベントでの日本人の誠実さと温かさは、再び見られました。訪問中将来について二つの文化がさらに近づくことを目標とした重要な、そして二つの自治体の関係を兄弟関係に密接にする交渉は、私たちに協会の貢献も含めて速度を確保します。

エジェの花

東海市訪問中に東海市の開催した花の祭りでは、新たに成長した花に「Ece flower」という名前が付けられています。この特別な夜に

スピーチをした鈴木さんは、”協会の会長ハーカンさんの娘さんは2歳になりました、私たちはエジェと共に二つの自治体が成長し発展してゆくことを祈ります。花の写真と花は公式の贈り物として協会に贈られます。

4回目のトルコ訪問をした合気道の創設者、植芝さんの生徒になるチャンスが末澤先生が得ました。専門分野が「時代を超えたトルコの防衛と戦闘技術」の親愛なる教授イブラヒム・オズテック博士がセミナーを行った。

親愛なる梶塚康と澤田ジャスミンが古武道イベントを開催しました

午前中に

ブルサ植物公園で行われましたが、その後は道場で続けられました。この組織は後に日本で出版された権威ある雑誌”BUDO”にニュース項目として含まれています。

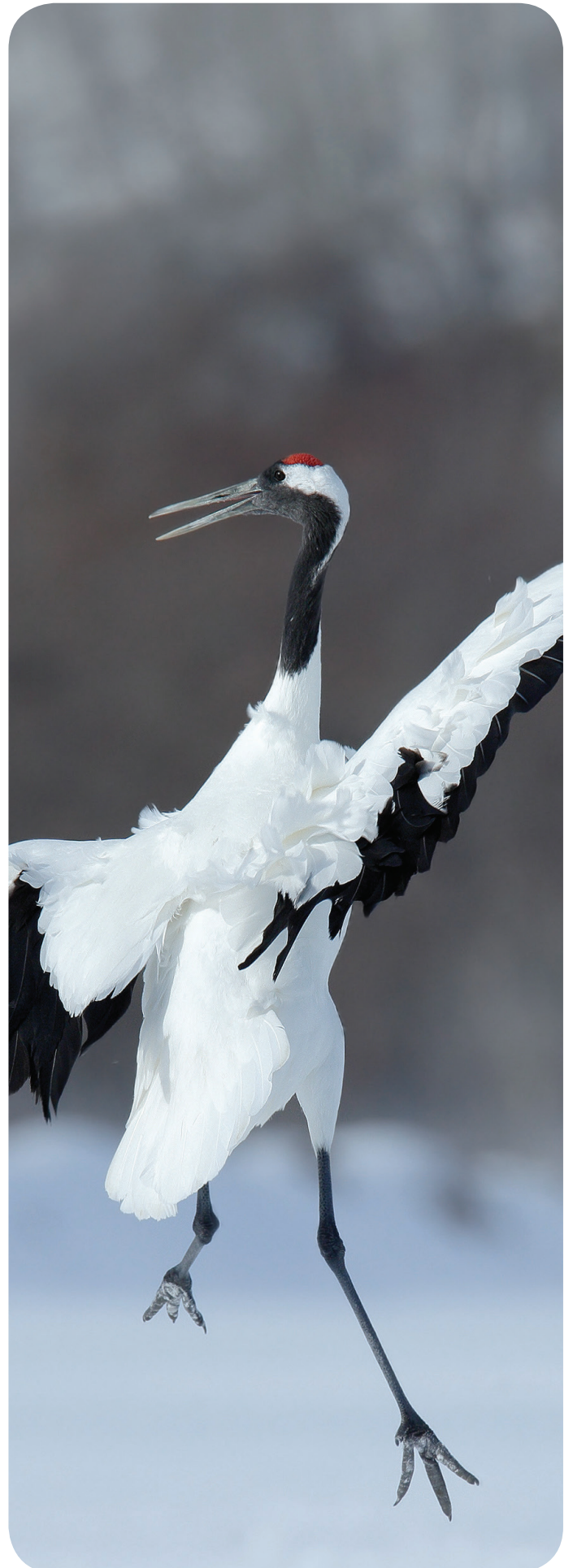
2008

田中日本大使ご夫妻と一緒に

夕食を食べましたが、2010年はトルコ-日本の年なのでどのような組織が共同で行うことができるか彼が知っていることについてのアイデアの交換がありました。最初の訪問の一つは2005年に行われました。もう一つは今年行われました。東海市が私たちの協会のチャンネルを通してブルサに送った20人は私どもの協会のチャンネルを通じてブルサの家族によってホストされました。

お客さんたちは、トルコの文化を、その最も誠実な形で導入されたのを経験されたでしょう。

協会のメンバーの中からファティヒ・トパルとハサン・チェレビが教育目的のために日本に送られました。世界の著名な教師と仕事をする機会を見つけた友人たちは、彼らが戻ったとき、私たちの他のメンバー共有しました。



2002

2008



Nilüfer ve Tokai kardeş kent oldu

■ Nilüfer Belediyesi, Japonya'nın Tokai Belediyesi ile 'kardeş kent' protokolü imzalararak, karşılıklı ziyaret ve işbirliği için önemli bir adım attı. Protokol törenine

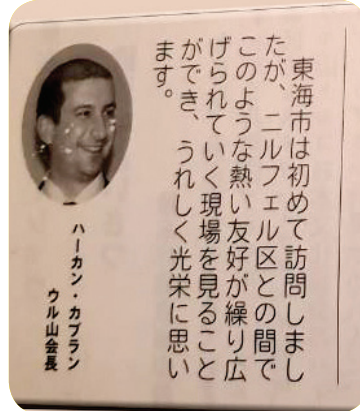
ニリュフェル自治体と東海市は兄弟市となりました。ニリュフェルは日本の東海市とプロトコルに署名し相互訪問と協力のために重要な一歩を踏み出しました。

梶塚靖さんとヤーセミンS.沢田は一緒に古武道のイベントを開催しました。

朝のうちはブルサ植物公園で行われた行事は、午後は道場で続けられました。

この活動はその後、日本で出版されている権威ある雑誌、「武道」にニュースとして報じられました。





東海市主催のフラワーフェスティバルで新しく咲いた花に「Ece flower」と名前が付けられました。この特別な夜にスピーチをした鈴木さんは、「協会」の会長のハーカンさんの現在2歳の娘さんのEceと一緒に私たちが二つの自治体間の関係が長年にわたって成長し、発展していくことです。



東海-ニリュフェル

姉妹自治体

東海市の招待でニリュフェル市を代表して5人、トルコ日本文化協会を代表して3人のグループの日本訪問が実施されている。大きな関心を持って満たされたイベントで我々は日本の人々の温かさや誠実さに再び接しました。訪問中に、将来の交渉に関する重要な段階が踏まれました。文化をより身近にするためのプロジェクトが議論されています。また、姉妹自治体の活動のためにも私たちの協会の貢献でスピードが加わっています。

2007年



日本公園 2010年

兄弟記念碑

東海市は2005年に「国際親善協会」との共催で初めてブルサを訪れました。

ウルヤマトルコ日本文化協会の大きな貢献と献身で東海市とニリュフェル自治体はお互いに親近性の増した二つの自治体関係としての実を結び始めています。

ブルサのベシエヴレル地区の5エーカーの土地に日本の家が建てられました。2000年代、私たちの協会の大きな夢であるこのプロジェクトは、今日、現実になったことを目の当たりにする私たちは非常に興奮し感情的になりました。この状況は私たちにすべて夢から始まることを示しています。



ホームステイ 2008

東海からブルサへ

2008年、東海市からブルサに来た
30人の日本人ゲストをトルコ側から
伝統的なトルコの家族の中で一晩滞在
してもらい彼らはその構造を認識した。
以前はまったく知人がいなかった人
日本のお客様を自宅でゲストを歓迎します-
伝統的なトルコのおもてなしを示す家族に
私たちは深く感謝します。
長年続く友好関係に彼らが行ってきました大きな貢
献に私たちは感謝します。



2009 同協会の運営スタッフと日本総領事館を訪問しました。ブルサ観光のためのどのような魅力的なエリアが訪問されたか、どのような観光スポットを作成できるか、そして2010年のトルコ-日本年でブルサで”2010年トルコ日本年”を作成する場合開催予定の活動について話し合いをしました。林駐日総領事をブルサ-イスケンデル館で歓迎しました。協会会員と共に行った歓迎会では2010年トルコ-日本年でどんな組織や行事を計画するかについてアイデア交換を行いました。日本の北にある北海道にある“北海道日本トルコ友好協会”会員はブルサ大都市市長のオフィスを訪問しました。訪問の後、ブルサ市内での観光を行い史跡や文化の紹介がされ歴史的文化的価値が鑑賞されました。ブルサで初めて”数独トーナメント”が開催されました。ザフェルプラザ内で行われたトーナメントに関し、すどくは日本で開発されたゲームであることが紹介され歴史的には、”数独文化”は、日本のヴァダに起源を有します。トーナメント後の最高得点の勝者をはじめ、上位3人の出場者に特別賞が与えられました。一年間ヤロヴァから通い、日本語と日本の剣道を教えた山田先生。そして山田先生の送別会が計画されました。夕食時に日本語コースを修了した研修生には、免状が与えられました。山田健先生にもトルコの伝統を反映した贈り物が贈呈されました。当協会の新本部は日本総領事林氏と奥様、ブルサAK 党国会議員アリ・クル、そしてニリュフェルのボズベイ市長の参加を得て開所されました。2010 東海市は”国際親善協会”の支援で2005年に初めてブルサを訪れました。

ウルヤマトルコ日本文化協会は、大きな献身的な貢献をによって東海市とニリュフェル市との関係は実を結び始めました。ブルサ・ベシエヴレル地区で5エーカーの土地に日本の家が建てられました。これは2000年代の私たちの協会の大きな夢であったこのプロジェクトが今日実現されていることを確認することは非常に重要です。それは私を興奮させ、感情的にさせます。この状況は私たちのためです、そしてすべてが夢から始まることを示しています…5年ごとに開催される古武道のデモの殆ど(3/4)に私たちの協会会長ハカン・カプランは名誉ゲストとして招待されました。

カプランさんについて一言紹介・日本の権威と見做される香取神道流派、竹内流(柔道-柔術の源流)鹿島流学校の生きている代表を見る機会を見つけました。北海道日本トルコ協会会長山田氏も私どもの協会会長カプラン氏の参加により日本文化について語り合いを実現しました。二つの文化はお互いに近くその特徴、教育制度、両国関係の歴史について、話されました。

学生たちに寿司が提供されました。

北海道日本トルコ友好協会会員達がブルサ市を訪問しました。オスマンガージ区が主催するブルサ旅行は非常に成功しました。協会センターで”霜降

り”の芸術を鑑賞した会員と夜植物公園で一緒に夜食をしました。

2010年2月27-28日ブルサTKMで”影武士グループ”が出演しています。3年前から準備されているショーは、日本語です。機器機材は完全なTIRトラック2台分でブルサへ運ばれ、3日間続いたショーはブルサの聴衆を魅了しました。(ネオジャポネスク)

世界的に、それぞれが独自の分野の学校である有名な小川さん、川井さん、川辺さん、三村さん、

彼らは生き残った。ヴァイオリン、マリimba、オペラ、書道をもってオペラ芸術を展開した彼ら貴重なアーティスト達はブルサのタイヤレ文化センターで

完璧な忘れがたい日本の一日を展開しました。私たちの協会センターでは、靖子夫人によって寿司コースが開催されました。協会とderのメンバー以外からの参加が多いイベントでは寿司の細かい詳細が学ばれています。

トルコ語とトルコ文化を詳しく知るために来た北海道日本トルコ友好協会会員の白井祐一さんと由美子さんのご夫婦は歓迎され私たちの協会が主催する、歴史的、文化的な価値観を体験されています。

友情と友愛関係の毎日がさらに発展しているトルコと日本の文化の中で、今年は別の美しさによってマークされています。北海道日本トルコ友好協会会長山田さんがヤイラジュック村の学校を訪問した際に学校はニーズの一つであるプリンタを、贈り物として与えられています。

2011

外務省特別文化賞それはブルサに与えられました。

世界の様々な国の機関、組織、個人に与えられる

日本外務省の表彰状は2011年にブルサウルヤマトルコ日本文化協会会長のハカン・カプランさんへ与えられました。

2012

毎年7月の第1週に開催されます”第三回サマーキャンプ”が開催されました。子供達の知性と身体の発達における日本の武道芸術(剣道、柔道、合気道など)の貢献度は議論の余地がありません。

協会センターで週の特定の時間に時々、私たちの組織された活動にも日本からの先生も参加して貢献しています。剣道では山田先生、合気道-杖道では末沢先生への感謝の負債があります。

兄弟愛はブルサとメルシンの間に確立されました。

そしてブルサ・トルコ-日本友好協会とマルマラ地震の救援に来た日本救助隊のサポートを日本から到着した救援物資を政府の指定する集積地店

への輸送に関して日本大使館とトルコ-国際交流基金との間の調整・サポートを私達が行いました。

日本語の語学コースが始まりました。

ブルサ-トルコ-日本週間が開催され、メルシンからの訪問者と一緒に祝われました

メルシンと「兄弟プロトコル」が署名されました。ブルサとメルシン間のトルコ-日本の友好協会。竹原茂夫駐日大使と今泉重吾アタッシュをブルサで歓待しました。メルシン-トルコ-日本友好協会がトルコ-日本年を組織したので私たちの協会は年の活動としてメルシンに行ってきました、そして伝統的な武道、合気道と剣道の練習を人々に発表しました。

メルシン-トルコ-日本文化協会はブルサ・ウルヤマトルコ-日本文化協会の兄弟協会です-

各種共通の活動を企画します。この素敵な活動の二年後、私たちはメルシン-トルコ-日本文化協会頭を失った。我々は二つの国の間の兄弟愛の建築家として彼をアシュックヴェイセルの詩で記念しました。

「私は行きますが、私の名前は永遠です。

私の友人は私を覚えています。尊敬するAdnon、私たちはあなたを永遠に覚えています。

あなたの囲炉裏は愛に満ちていたからです。あなたは歴史に残る2つの国の間最初の多くの活動に署名しました。あなたの心から発せられるこの美しい光は未来の世代を照らします。

会議に講師として参加した石原氏は日本の教育制度について講演した。観客として多くの学校のディレクター、教師と学生が参加しました。会議はUftadeの展示ホールでおこなわれ、cinevisionによるプレゼンテーションが行われました。2002年の茶の湯、生け花、折り紙プレゼンテーション活動はブルサ教育資材センターで実施されました。... 日本総領事館から和田さんと文化大使の石原さんは参加されました。

いくつかのショーは日本でもっとも著名な生け花学校卒業の和田さんの実演で開催されました。2002年、茶の湯、いけばな、折り紙プレゼンテーションにはブルサから女性たちが加わりました。体育学校からの学生のグループと

ウルダー大学のスポーツ部門の学生たちは合気道のレッスンを受けた。かなり楽しい勉強でしかも私たちは未来の教師世代と一緒になれて私達を幸せにした。約二続いた訓練中に私たちは合気道の哲学と基本的な技術を教えた。幸福のもう一つの原因は次のように記述されてる：学校の管理はスポーツの枝の学生のプレゼンテーションから尋ねたら合気道を好んだことを彼らは言ったそうです。

“2003 トルコ-日本年”の活動のため”

日本総領事館とウルヤマトルコ日本文化協会は-36枚の北斎の名画が展示写真が展示されている写真展を組織しました。

04-15/JUNE/2003

長い期間日本の総領事であった和田氏は、トルコを離れる前に来てウルヤマ・トルコ-日本文化協会のメンバーと一緒にみたかったと述べた-この機会に私たちはブルサの歴史的な観光的な場所を訪問し、昼食を”ブルサの漁師”と言うレストランに行き、語り合いもしました。日本トルコ協会であることで私たちは、彼からいくつかのことを求めました。

それらの中で最もブルサの重要なものは、次のように述べることができます：

より多くの観光客をブルサに招待するために何ができるか。日本に戻る前に彼の報告に書くと言った。

さらに、セットバシユの小学校は日本のブラザースクールを欲しがっていたのでとそのプレゼンテーションファイルは、和戸さんにお渡ししました。

巨人と本物のマスターである二人のマスター、ブルサへ来てください

末沢秀明(合気道8段)

新井勝彦(合気道5段)

彼らは私たちに何十もの技術を教えました、最も重要な事は、次のように記述することができます

：彼らは私たち次のように最後のポイントを示しました

マスターであることの。

そのうちの一人 63歳

開祖植芝盛平に師事

合気道の修行に励んだ。

8段に達した本当のマスター

状態に到達した真の師である。

我々は前に見たことがなかった技術だけでなく、彼らは私たちに重要なポイントを示した、それは謙虚さです。10日間の訪問中に新井克彦さんに協力していただきました。彼は新井との通信中に、アシスタントになりました。新井さんは私たちに次のような電子メールを書いてくれました：

私は私のアシスタントとして8段からマスターをもらえずでしょう、その時我々は彼がミスを犯したと思ったが、私たちはそれが本当だったことを見て来ます。彼は10日間新井をマスターするのを手伝っています。彼らは指摘します。

本当のマスターが到達すべき精神的な状態

長年の訓練の後、末沢先生に感謝します

新井先生に感謝します

貴重な知識。

兄道場

私たちは多くのアクションで見るように

2009

北海道日本トルコ協会会長山田英二氏が参加し
ファイナル・オクルラル・ブルサ支店で日本文化についての語り合い
点、教育制度、関係の歴史についてお互いに近いで特徴、両国の類似
寿司を提供されました

北海道日本トルコ友好協会の会員がブルサを訪問
オスマンガー自治体の後援の下で計画されたブルサ旅行は非
常に成功しました。私たちの協会センターで"Ebru"芸術を知って
いるメンバーと夜、植物公園と一緒に夕食がとられました。

東海市副市長は私たちの協会とブルサを訪問することで、私
たちの文化を密に知る機会を得ました。
白井裕一と由美子夫妻はブルサに6ヶ月滞在し、トルコ語と
トルコの文化について学ぶ機会がありました。



スドク コンテスト
2009



東海市が我々の協会を訪問しました





森脇さんの地震セミナー
建築家の部屋



山田英二ヤイラジュック学校に
プリンターを寄贈した

2010



第75回古武道大会に名誉ゲストで招待された

影武士(かげぶし)

トルコ-日本年のイベント「タイヤレ文化センター」で世界的に有名なかげぶしグループがショーをやった。

トルコのメディアではかなりポピュラーなあゆみさんも舞台に出演した。



2010年トルコ日本年で影武士ショー

古武道

日本の武道芸術

年に一度開催される古武道ショーの第75回に齋藤聡から、当協会の会長ハーカン・カプランは名誉ゲストとして招待されています。日本について権威として受け入れられている鹿取神道流派、鹿島流、武内流(柔道、柔術の源流)、柳生流流派の生活、伝説の代表者と会い、会話の機会が見つかりました。



2010年トルコ日本年で影武士ショー





世界的に有名な空手達人金沢氏に
協会のロゼットを着ける



金沢支位スタンブールにて2010年

2010年 トルコ 日本 年



有名な剣術の鹿島流を訪問



日本の国家遺産
鹿取学校の師範大竹さんからお客さん



無外流を訪問



日本国

表彰状

外務省

日本国外務省特別表彰状 ブルサに授与されました。
世界の様々な国の機関、組織、または個人の方へ、
日本国外務省より授与される表彰状、- 2011年度は、ブルサ-ウ
ルヤマ-トルコ-日本-文化協会会長ハーカン-カプラン氏へ
林日本国総領事よ授与されました

2011





Japonya Dışişleri Bakanlığı Özel Kültür Ödülü Bursa'ya

JAPONYA Dışişleri Bakanlığı Özel Kültür Ödülü'ne layık görülen Bursa Uluyama Türk Japon Kültür Derneği Yönetim Kurulu Başkanı Hakan Kaplan ödülünü Japonya Başkonsolosu Bay Hayashi'nin elinden aldı.

Dünyanın çeşitli ülkelerinden kurum, kuruluş ya da şahıslara, Japonya Dışişleri Bakanlığı tarafından verilen Özel Kültür Ödülü, bu yıl Bursa Uluyama Türk Japon Kültür Derneği Yönetim Kurulu Başkanı Hakan Kaplan'a verildi. 16 Eylül tarihinde Japonya Başkonsolosluğu'nda yapılan törene İstanbul, İzmir, Bursa ve Ankara'dan çok sayıda seçkin konuk katıldı. Hakan Kaplan, Dışişleri Bakanı Bay Matsumoto'nun imzasını taşıyan takdir belgesini Japonya Başkonsolo-



su Bay Hayashi'nin elinden aldı.

BAŞARI EKİP İŞİ...

Törende, iki ülkenin birbirini daha iyi tanıması ve yakınlaşması için yıllardır birçok önemli faaliyete

imza atan Kaplan ve Uluyama derneğinin Tokai ve Nilüfer Belediyesi'nin kardeş belediyeler olması, Japonya'nın kuzeyinde yer alan Hokkaido Türk Japon Dostluk Derneği ile kardeş dernek olunması ve karşılıklı ilişkilerin kuvvetlenmesinde gösterilen ilginin yadsınmayacağı vurgulandı. Uluyama Türk Japon Kültür Derneği Yönetim Kurulu Başkanı Hakan Kaplan ödül töreninde konuşma yaparak heyecanını davetlilerle paylaştı. Kaplan, "Hiçbir başarı tek başına elde edilemez. Eğer ekibiniz ve size inanan insanlar etrafınızda kenetlenmişse, aşamayacağınız hiçbir engel olmayacaktır. Bizler de verilen bu ödülle daha da büyüdük, daha da güçlendik" diye konuştu.



2014年京都民際外国語学校をゲストに迎えました/書道を勉強しました



2014年 日本国葬領事館邸宅で食事に招かれました

日本文化を紹介しました

2015年2月
宮本太と柔道と剣玉をやってみました



2015年3月朝山隆と酒井英二を
ゲストに迎えました





2014年武内誠と居合道(伝統的剣術)
の稽古をしました



2014年末沢秀明と合気道を
練習しました

串 本町の近くの海に沈み 586人の船員が
殉死した災難記念碑は同じ町に設立され
ました。私たちは友好協会のメンバーと一緒に
記念碑を訪問しました。丘の上にあるこの記念
碑には、栄光の国旗が翻っていました。私たち
の気性は変動していました。訪れるすべてのト
ルコのゲストの名前が書かれたパンカードは私
たちの名前は書かれ、忘れられていなかった。
私たちの夜に敬意を表して出された 食べ物は
トルコ料理でした。同じ夜トルコのゲームをプ
レイしている日本人を見て私たちは非常に興奮
しました。



2014年ボランティア医師の宮崎医師を記念し
ビデオクリップを作成し母親に送りました

2015年イスラム調査財団の宮田修氏
を協会にゲストとして迎えました



2016

2017

2018

折り紙

紙折りの芸術

関係部門と、コンピュータゲーム部門に 変身した今日、子供たちは多くの時間を持っています。いつも彼らの時間利用について私達は不平を言いますが、禁止する代わりに、彼らに何か代わるものを提案を何かしましたか？そこで、変わるものの一つとしてここに折り紙の選択肢があります。貧富誰もが出来る、どこにでも持っていける小さな紙で、あなたの豊かな想像力とが一体となる芸術を学ぶことをあなたはどのように思いますか？



2016 ドアー コレジ 折り紙 表彰式



2017 Taiko (日本の太鼓上演)
タンコレジ



2018子供達が西牧日本総領事の手から
賞状を受け取りました



2018 折り紙コンテスト
メリノス文化センター

忍耐と
知性と
数学が
一緒になった
芸術、
折り紙



ニシ学校 2017
江原紀夫日本総領事



AS テレビで折り紙紹介



白血病患者の子供達の救援財団ロセヴで
折り紙コンテストが開催された



江原紀夫日本総領事のオフィスを訪問



2019-22



2017

日本語

山田英二さんは毎週木曜日の朝Yalovaからブルサに来て、夕方数人の学生に日本語を教え、翌朝ヤロヴァに戻る生活をしていました。1996年、再びエリフ夫人(秀子さん)の努力でブルサの人たちに日本語を教えてもらい、好きになってもらいました。お二人を敬意をもって思い出します。その後の年々は関根康紀さんから会員達に、また会員の子供たちに対して日本語の勉強が続けられました。最終的にはアンカラ大学の日本語および日本文学部卒のビュシュラ・バハルさんのおかげで3人の子供たちがJLPT(日本語能力試験)でN4レベルに、1人の子供はN5に進みました。パンデミックの時にもインターアクティブを使って教育を続行しました。先生たちに感謝を捧げ、子供たちには成功を祈ります。



2018



2010



日本 2017-18

私達の協会は、合気道の創始者である植芝盛平の個人的な生徒の8段末沢秀明の特別招待で日本へ行った。長年にわたって第二の家と考えられているブルサで彼は教育を提供しています。末沢秀明は、東京の自宅や道場でトルコ人学生をホストしていました。文武会の35創立記念日のために小さな祭りが開催されました。祝いエリアでの合気道からトルコの民俗舞踊まで、多くの公演が行われました。末沢先生が集合写真で感じた誇りと幸せ それは彼の顔に反映されていた。帰国の前日、東京のトルコ大使館とユヌスエムレ文化センターを訪問し、協会の国内および国際的な活動についての情報を提供しました。別れの時ウルヤマメンバーを忘れられない思い出で送り出す末沢先生は、再び心の中で彼の場所を確認しました。彼は"私の子供達"として彼の学生をよび、彼の道場で40年目に再び会いたいという願望が揺るぎない心の絆によって結ばれている家族であったことの明確な証拠でした。





ユヌス・エムレ文化センター



日本のトルコ大使館訪問



分會 35周年記念式典
開会の辞



東川市長訪問



北海道日本・
トルコ友好協会会員達と

北海道 2017

北海道日本トルコ友好協会の会長山田英二さんの招待で、日本の北、北海道に行ってきました。札幌と東川でいろいろ訪問と見聞が行われました。友好協会の会員と夕方会って、次の日は東川の小学校で東川小学校児童のトルコについて疑問に思っていた質問に答えました。旧都奈良の近くにある柳生の町に行きました。ここに歴史的な流派柳生新陰があります。ここでの稽古に参加した後 “さくら”誌のための取材をしました。さくらマガジンの3刊に詳細が含まれています 美しい心(せいびがくよう)障害者のための学校を訪問しました。そして、私たちにここで多年に渡りサービスをしてい蓮本美恵子さんに紹介されました。彼女が人間性の教訓を教えてくださいました。



東山小学校の生徒たちにトルコを紹介しました



生徒たちのトルコについての質問に答えました



外国人のための
言語学習センターを訪問



2017 柳生新陰流のセミナーの
為柳生村に行きました



2017 障害者、美心者の
学校を訪問



私達に人間性のレッスンを授けた
美恵子さんと知り合いました



2017 シズル・オオタカ音楽芸術グループ
がトルコにきました



2017 芸術史のミユキ・アオキ・
ジラルデッリがブルサにきました

夫々がカラフルなイベントの年として歴史に
記録が残ります。

2017-2021

何年も前にオスマン帝国のを調べるために
トルコに来た伊藤忠太の日記を作った人、ミ
ユキ・アオキ・ジラルデッリをゲストに迎えま
した。日本でのベストセラーも6位。この本
はオスマン帝国のその時期を描き出してい
ることです-

2018 Büsmekで森脇氏の
寿司ワークショップ



2021 外務省事務次官を経た
堀口暢氏を訪問しました





2017 森脇氏が地震セミナー講演のためブルサに来ました



2018 ウルダー大学医学部で合気道のレッスンを授与

高等建設エンジニアで建築家で 寿司職人の森脇さんがたくさんの イベントやインタビューを開催しています。長年日本の外務省で働いた外務省事務次官で両国で務めた人、非常に重要な活動に署名した人、堀口さんがゲストですメリノス文化センターでのOndekoza太鼓グループの公演は演奏後長い間拍手とスタンディングオベーションで送られた。



2017 ウルダー ギョクオズで夏季キャンプを実施

2017 Ondekoza (鬼太鼓座) 公演メリノス文化センター

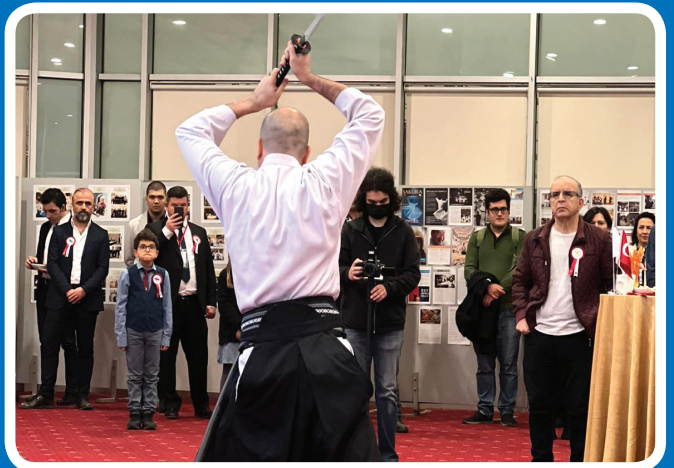


2021



1992/2022
ウルヤマは
30 歳に
なりました。

1992年に設立された、ウルヤマが 30歳になりました。この特別な日を メリノ文化センターで イベントの30年を祝った 全体を通して奉仕してきたボランティア 私たちの友人の傍には笠原健一日本国総領事氏、大切な森脇氏と 政界からも重要な名前が参加した一日だった





30年を 祝い ました





2024

日本政府特別勲章 「旭日双光章」 勲章伝達式

日本政府が授与する最高の勲章の一つである「旭日双光章」の授与式が、ブルサ・ラマダホテルで行われました。1992年に設立されたウルヤマ日土協会の会長、ハカン・カプラン氏は、長年にわたり日土関係に貢献した功績が認められ、この勲章を受けることとなりました。

日本政府は、政治、外交、産業、経済、科学、文化などの分野で国の発展に貢献した日本国民および外国人に対し、毎年春と秋の二回、勲章を授与しています。





この勲章は、1875年4月10日に日本政府の勅令により授与が開始された最初の勲章です。旭日章のデザインは、日本の「昇る太陽」の概念に並行して、昇る太陽のように強くあることを象徴しています。

授与される証書には日本の皇室の印と日本の首相の印が押されています



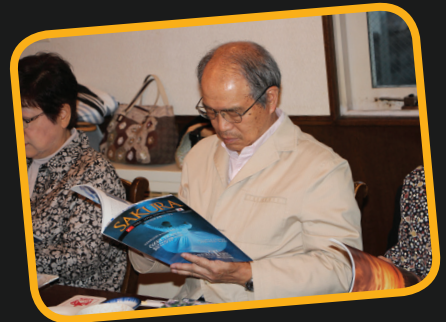
サクラ会誌

私 たちのエネルギーの大きな犠牲と年に一度無料で発行するサクラ

会誌は

二つの文化を相互に更によく理解する上で大切な役割を果たしてきました。

——▶ つの豊かな文化をさらに近づけること、そして
——▶ 私達の子供達に平和一杯の明日を残す目的でサクラ会誌は留まることなく発行に向けて働き続けます。





SAKURA

TURK - JAPON DOSTLUK DERGISI

トルコ日本 友情ジャーナル

KAMAN
KALEHOYUK
カマンカレホユック

Fantastik
Japonya
素晴らしい日本

9000年の歴史
9000 YILLIK TARİH
ÇATALHOYUK

MASALLAR DIYARI
KAPADOKYA
おとぎ話のカパドキア

謎のアヤソフィヤ
GİZEMLİ AYASOFYA

SAKURA

TURK - JAPON DOSTLUK DERGISI

トルコ日本 友情ジャーナル

YENİÇERİ & SAMURAY

ÖZEL DOSYA
オスマントルコが誇った刀の
兵士「イェニチエリ」

MEVLANA & TASAVVUF
メウラーナとスーフィズム

GÖBEKLİ TEPE
DÜNYANIN İLK APINACI
ギョベクリテペ 世界で最古の寺院

SAKURA

TURK - JAPON DOSTLUK DERGISI

トルコ日本 友情ジャーナル

JAPON EĞİTİM SİSTEMİ
ÖZEL DOSYA
日本の教育システム

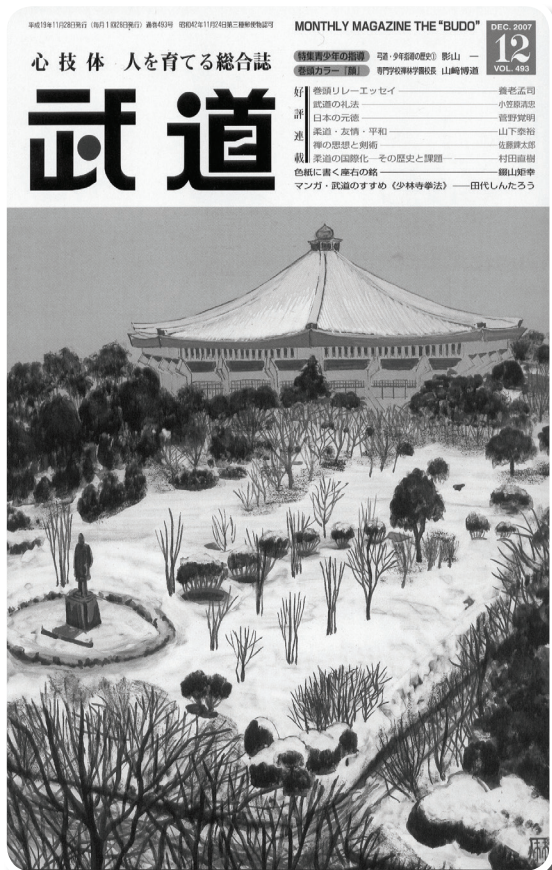
GÜZEL KALPLAR OKULU
美しい心があるところ

ZEYBEK
ゼイベック

日本の プレスの中で 私たち

日本の最も有名な武道(武道雑誌) 2007年12月(493号)で私たちは取り上げられました。

梶塚康さんのトルコでのセミナーと協会会長の記事が掲載されました。“北海道新聞”でウルヤマが東川小学校への訪問が報道されました。



2007/12月雑誌武道493号に掲載



部がヴィッセル神戸のコーチ陣 内小中学校児童に
4名とJリーグ2名から、指 ツチのプレゼント

ようこそ串本へ 外務省

6月10、11日と在
好団体の代表団11名
ました。
10日には、文化セ
を開催。歓迎会は、
トルコ民族舞踏団の
なつて準備をすすめ
国際交流協会、里浩

2001 5月 串本地元新聞に掲載

ハーカンさん（左から2人目）と交流を深める東川小の6年生



【東川】トルコの文化に
理解を深めてもらおうと、
トルコの「ブルサ・ウルヤ
マ日本文化協会」会長、ハ
ーカン・カプランさん(48)
が東川小を訪れ、児童と交
流した。(相沢 宏)

ハーカンさんはトルコ北
西部の都市、ブルサ市で合
気道の教室を運営してお
り、技術の研さんと国際交
流のため3日に来日。旭川
に本部を置く北海道日本ト
ルコ友好協会（山田英治会
長）の紹介で、11日に東川
小を訪れた。

当日に行われた6年生の
道徳の授業では、題材とし

トルコの文化
理解を深めて

日本文化協会ハーカンさん 東川小生と交流

て、1890年(明治23年)
に和歌山県沖で座礁したオ
スマン帝国(現・トルコ)
軍艦のエルトゥールル号の
乗組員を日本人が救ったこ
とが取り上げられた。
続いて6年生2クラス
(63人)合同で行った交流
会では、ハーカンさんがト
ルコの歴史などを通訳を介
して説明。児童たちは興味
深そうに聞き、「日本とト
ルコの友好をこれからも深
めたい」とお礼の言葉を述
べた。

ハーカンさんは北海道を
離れ、京都や奈良で古武道
の研修を受けた後、20日に
も帰国する。

ULUYAMA
TÜRK - JAPON KÜLTÜR DERNEĞİ

**ブルサ・ウルヤマ文化協会の
ハーカン・カプラン会長が来日**

当協会と姉妹友好協会であるブルサのウルヤマトルコ日本文化協会のハーカン・カプラン(Hakan Kaplan)会長が、柳生流古武道の講習会に出席するため、9月に以下の日程で来日します。滞在中の来道も決まりました。

【日程】
3日(日) イスタンブール発→成田(空路・ウル経由)
5日(火) 成田発→千歳(空路)
※札幌、3泊4日/白井宅泊
8日(金) 札幌発→旭川(バス)
※旭川、3泊4日/山田宅泊
11日(月) 旭川発→羽田(空路)
※16日(土)～18日(月・祝) 講習会
20日(水) 成田発→イスタンブール(空路)

協会では歓迎のため以下のように準備を進めています。
<札幌支部>
●5日(火)、田中支部長、白井さん(協会を通しブルサに3か月滞在し、ハーカンさんと親しい)が新千歳空港まで出迎え。
●6日(水)・7日(木)は、会員の竹内さん、宮本さん、阿部島さんと札幌市内・近郊を観光。 ※行き先は天候に合わせて随時調整。
●6日(水)の夕食には、ビール園(予定)にて会員との懇親会を計画中。
●7日(木)17時より居合道の稽古を見学、その後、会員有志と居酒屋(予定)へ。
●8日(金)午前、札幌バスターミナルへ。<旭川本部>
●8日(金)、山田会長が旭川中央バス

ターミナルで出迎え。
●9日(土)夜、歓迎懇親会。
●10日(日)、旭川市内・近郊を観光。
●11日(月)、午前中に学校訪問。夕川空港へ。
★札幌・旭川の懇親会の詳細は後述しますので、ご予約しておいてください。

▲2011年10月、ウルヤマ日本文化協会との姉妹協会締結の調印式

▲2011年9月、アンカラの日本大使館での表彰式にて、日土友好に貢献したトルコの方々(右)に外務大臣の表彰状が授与。右がハーカンさん。

▲今年2月に「折っている日土2カ国語のチャレンジ」を開催誌『SAKURA』。大使館も協賛。

学校見学の希望実現にみなさまのご協力を

ハーカンさんが学校(小学校・高校)の見学を希望しています。つてのある方、ご意見や、言を田中支部長へお願いします。

ヒュセイン・ソラクオール
イブラヒム-ギュンドードウ
ハイリ・エティムオール
オズカン-モカン
コドリ・アルスラン
クビライ・ヨルジュ
ムハメット-ギョングョル
シャファック-ベンギョボズ
トウルカン・セルト
ヴォルカン・キョセレ
イスメット・ヤヌック

ジャン・ビリル
ムラト・デミルハン
カアン-オナル
バルバロス-ケムル
ヒュサメティン-アイドウン
エルサル ベジェリクリ
H.ヒュセイン・エルドアン
イブラヒム-ギュンドウドウ
メティン カユス
エヴレン・フィダン
ユクセル・オズカン
ミュゲ・テュルケシュ
ティムール-オズデミール
オウズ-オジャル
アリ-タンルクル
トルガ・クルトウルシュ
アリ-オズベク

エムレ・サランドル
ファティ-トパル
バルシュ・アヴジュ
ウフク・アイドウン
アフメト・チャクマク
ハルン・イエシルユルト
ムラト-ジェラト
クルシャト・カラカシュ
ビュレント・エゼン
ハカン・タヴシャン
シェナズ・ナルバント
アルペル-テキン
カディル・オズゴジェン
ヌルドアン・クズルアスラン
ヌリ-アカイ
タンジュ-ヴラル
ハーカン-トウラン
オルケン-カラブルン
トルガ・アシュカル

ゴールド

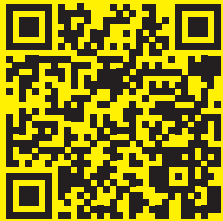
ページ

この部分では、私たちの協会の30年の
写真を作成するのに特に大事なサー
ビスを提供された会員・友人たちが
出てきます。

私たちは彼らに感謝しています

あなたの側であなを信頼するあなたの友人がもし
あれば、道は長くありません。

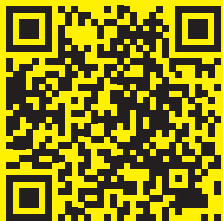
Uluyama TV



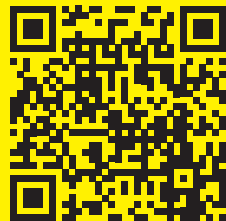
古武道セミナー



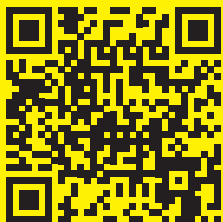
日本2016



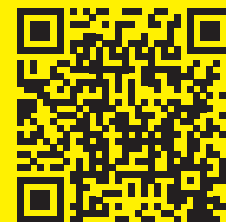
誰が日本語を恐れますか？



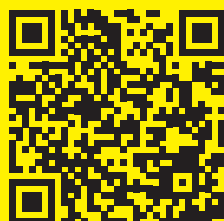
宮崎先生のために作った
ビデオクリップ



折り紙は何ですか？



山田英二
北海道友好協会会長



日本 2018

完璧になるために
はじめの一步はARENA学園!
幼稚園
小学校
中学校

Konak 地区 Kuşburunu 通り
No:2 Nilufer/ブルサ
0850 244 2 276

アリーナ学園
幼稚園-小学校-中学校-高等学校